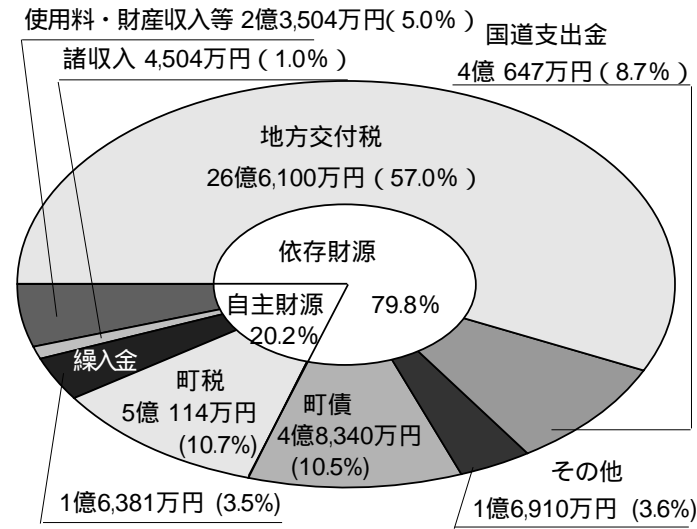
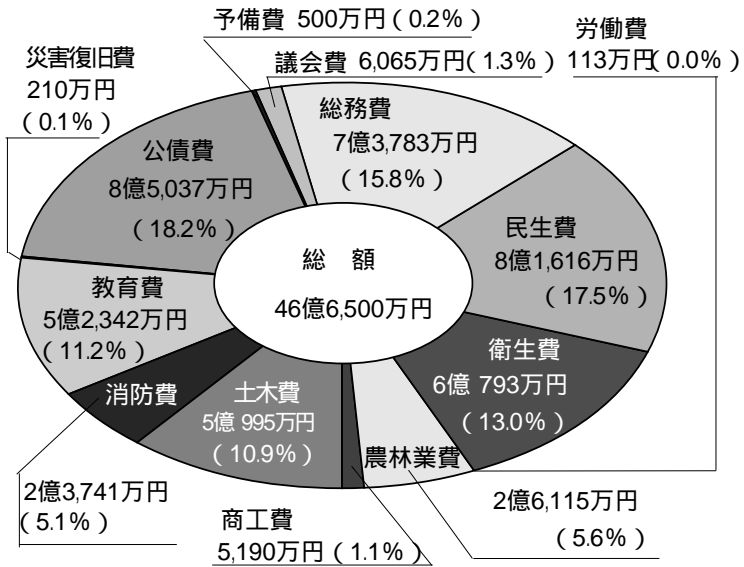


# 一般会計予算額の科目別内訳

## 【歳入】



## 【歳出】



【表2】(一般会計分) 町民1人当たり予算額

商工費	8,887円	農林業費	44,718円	労働費	193円	衛生費	104,098円	民生費	139,754円	総務費	126,341円	議会費	10,385円
その他	856円	公債費	145,611円	災害復旧費	360円	教育費	89,625円	消防費	40,653円	土木費	87,320円	<b>798,801円</b>	

平成22年2月末現在の住民基本台帳人口5,840人で計算しています。

次に、上のグラフ右側の円グラフは歳出を科目ごとに表しています。歳出の18.2%を占める公債費は、各種事業を実施したときに借りたお金の償還金で約8億5,037万円を支払うこととなりますが、昨年度から比較すると約1億8,262万円の減額になっています。

**町民1人当たり予算額79万9千円**

また、基金繰入金は極力抑え、前年度より6.7%減の1億6,381万円としました。この取り崩しで21年度末の一般会計分の基金残高は、積立分も含め22億8,262万円となる予定です。

一方、自主財源のうち町税は、5億1,144万円の前年度比2.1%の減額となり、21年度予算額より減少しています。

一般会計予算額を科目別にみたのが、上のグラフで歳入は左側の円グラフです。国から交付される地方交付税が26億6,100万円(前年対比0.4%増)歳入の57.0%を占めています。これに国道支出金、地方譲与税、町債などを加えたのが依存財源といわれているもので、歳入全体の79.8%を占めています。

総務費では平成22年から平成31年までの10年間のまちづくり計画である第5次総合計画の指針をまとめた本編とダイジェスト版(合わせて300部)の印刷に90万円、民生費では子ども手当等扶助費565人分の734万7千円を計上しました。農林業費では昨年、15の町内企業・団体により設立された「木質ペレット協同組合」への補助金として400万円、土木費は町営住宅豊永団地4戸の屋根・外壁張替改修工事に110.8万円、消防費は防火衣14着の更新に27.9万円、教育費では放課後児童クラブ経費89.3万円と放課後子ども教室経費に85.0万円、日本フィルセミナー・コンサート15周年記念事業により、例年より増額の22.6万円を計上しました。このほかの主要な事業については、4ページをご覧ください。

また、表2は、今年一般会計の予算額を町民1人当たりで割り返した金額です。5,840人の町民一人当たりの金額は、79万8,801円になります。それぞれの科目に振り分けられた予算は、まちづくりやみなさんの暮らしを豊かにするために使われます。

歳入の約6割を占める地方交付税



## 歩いて暮らせるまちづくり

# 70億円の使い途

平成22年度の町の予算が、町議会の審議を経て決定しました。予算の総額は70億2,610万円で前年度比2.9%の減となりました。主な原因は下水道事業の事業完遂による事業費の減少です。また、行政サービスの中心となる一般会計は、46億6,500万円で前年度比0.5%の増。今年、第5次総合計画がスタートする年で、まちなか団地の建設や情報交流拠点としての(仮称)津別町多目的活動センター建設のための実施設計などを行っていきます。町は、厳しい財政状況の中で、対話を進めながら人口減少社会に対応する歩いて暮らせるまちづくりを推進していきます。今の特集では、このまちづくりを進めていく、町の予算内容について紹介します。

## 【表1】平成22年度会計別予算額の内訳

会計名	予算額	前年度比
一般会計	46億6,500万円	0.5%増
特別会計		
国民健康保険事業特別会計	9億2,720万円	0.6%増
老人保健事業特別会計	100万円	80.0%減
後期高齢者医療事業特別会計	8,080万円	0.5%増
介護保険事業特別会計	4億3,800万円	1.1%減
介護サービス事業特別会計	2億7,390万円	2.1%増
下水道事業特別会計	3億8,430万円	37.7%減
簡易水道事業特別会計	4,090万円	19.2%減
企業会計		
上水道事業会計	2億1,500万円	4.2%増
合計	70億2,610万円	2.9%減

町の予算は「一般会計」「特別会計」「企業会計」に別れています。中でも町民の生活全般にわたる施策を行うために経理するのが「一般会計」です。平成22年度の一般会計の予算額は、表1のとおり46億6,500万円で対前年度比0.5%の増になりました。平成22年度地方財政計画に基づき歳入を慎重に見積りし、歳出は見直しを行いつつながら予算編成を行いました。

老人保健事業特別会計は後期高齢者医療制度への移行に伴い医療費の精算分の減、介護保険事業特別会計は介護サービス給付費の減少、下水道事業特別会計は借換債借入金の減、簡易水道事業特別会計は国道240号配水管移設工事の減。また、上水道事業の企業会計は資本的支出が増加したことによるものです。平成22年度の予算総額は70億2,610万円となりました。

般計 前年度対比で0.5%の増

別計 減少の二途を辿る 特別会計